

■ 港湾で起こる様々な状況を耐重塩害仕様の屋外用カメラで撮影

情報カメラシステム(屋外対応HDインテグレートドカメラAW-HR140)

秋田テレビ株式会社様



AW-HR140をビルの屋上に設置し秋田港の様子を撮影



サブコントロールルームのモニターでAW-HR140の映像を確認



リモートカメラコントローラー AW-RP50



設置性に優れ、強風時でも揺れに強い頑丈設計



レンズの汚れを取る洗浄液が入ったウォッシャーユニットは、リモートカメラコントローラーから制御可能



AW-RP50をキャスター付きラックに置いて報道サブと制作サブを簡単に移動

2017年10月、秋田テレビ株式会社様は、気象情報や万一の災害情報をいち早く届ける港湾用情報カメラとして、屋外対応HDインテグレートドカメラAW-HR140を導入されました。秋田港を望むビルの屋上にAW-HR140を設置し、無線LANを使って約10 km先の中継点経由で本社サブコントロールルームへ伝送。ニュース番組ではライブ映像を放送し、24時間の収録も行われています。秋田港は、海上輸送の要所として港湾法で「重要港湾」に指定されており、また近年、世界中からクルーズ客船が寄港し、観光港としても盛り上がりを見せています。各地から多くの人々が訪れるこの地域の情報発信には、突発的な状況にもスムーズに対応できる、システムの信頼性が必須となります。耐重塩害、耐風圧仕様のAW-HR140は、厳しい環境下での撮影においても安定した運用を実現し、確かな情報を伝えるカメラシステムとして貢献しています。



お客様の声



これぞ求めていた条件を満たす情報カメラだと、
即決の採用でした。

秋田テレビ株式会社
放送技術局
放送実施部 部長
加納 周平 様

港湾の状況を撮影する情報カメラを探していたところ、AW-HR140の存在を知りました。通常、沿岸付近にカメラを設置すると、どうしても塩害による腐食は避けられず、ビルの屋上にポールを立てて天吊り設置すると強風に煽られて本体が揺れてしまうこともしばしばあります。その点、AW-HR140は耐重塩害仕様。また、土台に直接設置できるため、風の影響を最小限に抑えることができます。さらに、秋田県は非常に霧が多く、霧で映像が見えないことが多々ありますが、AW-HR140には霧除去機能が搭載されており鮮明な撮影が可能です。この耐久性と、屋外撮影を追求した仕様は、まさに求めていたカメラだと、出会ってすぐに採用を決めました。筐体がハウジングのない一体型で小型・軽量のため建物にアンカーボルトの穴を開けることなく土台の重さのみで安定する点には、優れた設置性を感じました。

また、AW-HR140はエンコーダーを内蔵しているため手軽にIP伝送が可能です。何か問題が起きた際に、システムがシンプルであればあるほど調整時間が削減できるため、別途エンコーダーを用意する必要

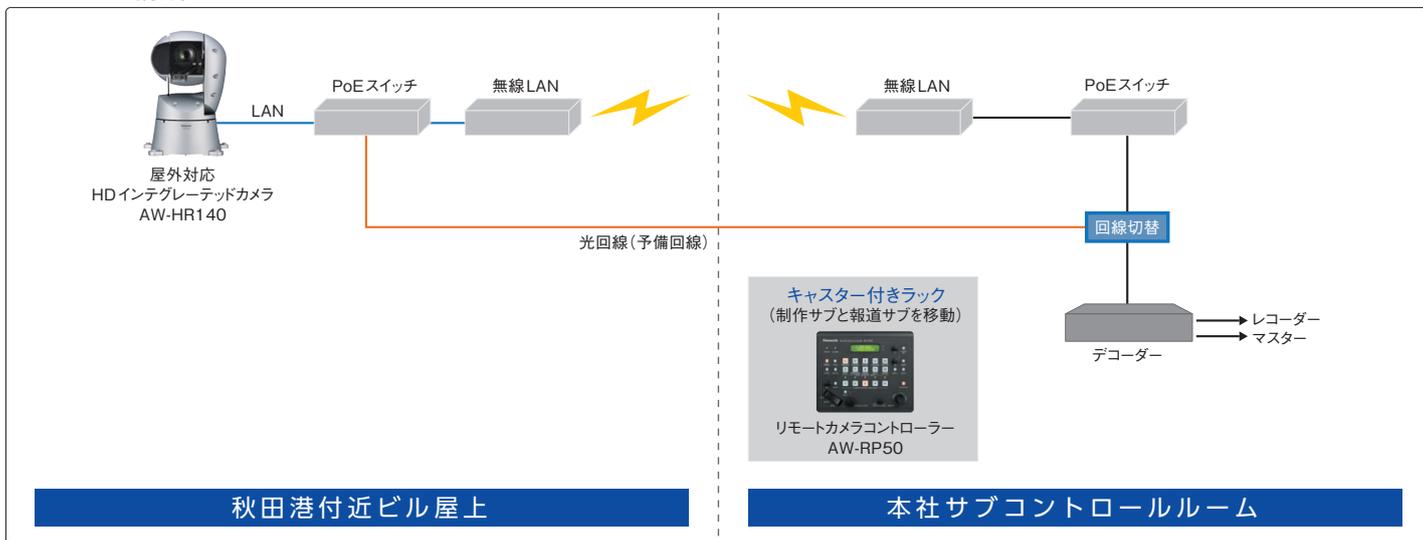
がない点は非常に助かりました。

現在は、夕方のニュース番組や、土曜日の情報番組「土曜LIVE!あきた」でライブ映像を放送しています。さらに、24時間収録も行き、万の際に必要な映像を取り出せるようにしています。ズームもよく効くので洋上の小船や約30 km離れた男鹿半島もしっかり映すことができています。

カメラコントロールは、サブに設置したリモートカメラコントローラーAW-RP50を使用し、主要な撮影位置やズーム倍率などをプリセット登録して緊急時に簡単に呼び出せるようにしています。また、カメラ本体にはレンズに付着した水滴を取るワイパーが付いていますが、その制御もこのコントローラーから行うことが可能です。

施工面でもコスト面でも導入しやすいカメラのため、今後カメラ台数を増やしていけたらと考えています。また、回線を引けばどこでも簡単に撮影でき、可搬型など新しい使い方も発見できるので今後の運用を楽しみにしています。

システム構成



主な納入機器

- 屋外対応HDインテグレートッドカメラ AW-HR140 : 1台
- リモートカメラコントローラー AW-RP50 : 1台

お客様プロフィール

秋田テレビ株式会社様

1968年に創立した秋田テレビ株式会社様は、報道番組、スポーツ番組、情報番組など様々なコンテンツを制作され、秋田県全域で親しまれています。また、県民の安全を第一に考え、災害発生時にその状況をいち早く伝えるべく、秋田県内4つのコミュニティFM局と「災害時地域情報協力協定」を結ばれています。番組を通して、秋田県の人々の防災に大きく貢献されています。